

第 2 回農林水産部会の意見交換テーマ

1 農業の食料供給力の強化について

〔第 1 回専門部会での主な発言〕

- ◇ 経営力の高い担い手と新規就農者の確保・育成
 - ・ 小規模経営体等が新たな制度等に対応するための支援の充実が必要。
 - ・ 地域計画の策定には、多様な関係者を参画させるべき。
 - ・ 女性の農業参入については、加工品開発等に限らず促進すべき。
- ◇ スマート農業や環境負荷の小さい農業の普及・拡大
 - ・ 環境へ配慮した技術は、民間の研究が進んでいる分野もあるので、それを活用した普及も進めるべき。
- ◇ 複合型生産構造への転換の加速化
 - ・ 周年雇用が可能となる品目の選定や農産物加工の取組を促進すべき。
 - ・ 多様な飼料作物の生産と活用方法について検討してはどうか。
- ◇ 「サキホコレ」のブランド確立と秋田米の戦略的な生産・販売
 - ・ サキホコレについて、ロコミの活用やメッセージ性のある P R 方法など、効果的なプロモーションが必要。
 - ・ サキホコレの消費者ニーズに対応できる販売量の確保を期待。
 - ・ 様々な用途の新規需要米について、本県での適性等を検討してはどうか。
- ◇ 農産物のブランド化と流通・販売体制の整備
 - ・ 県産農産物の輸出力強化をもっと深掘りすべき。
 - ・ 農村ビジネスは、6 次産業化と一体的に、同じ視点で推進すべき。

【ご意見をいただきたい事項】

- 若年女性の定着・回帰に向け、農業分野においてどのような取組が必要か。
- スマート技術の普及・拡大のために取り組むべきことは何か。
- 環境負荷の小さい農産物の消費拡大のためには、どのような手法があるか。

2 林業・木材産業の成長産業化について

〔第1回専門部会での主な発言〕

◇ 人材の確保・育成

- ・ 林業・木材産業の現場を、女性を含め県民に広く知ってもらうための魅力発信が重要。

◇ 林業・木材産業によるカーボンニュートラルへの貢献

- ・ 再生林について、業界運動から県民運動への大きな展開を期待。

◇ スマート林業の普及・拡大と木材の生産・流通体制の整備

- ・ 新たな技術の導入による労働者の肉体的負担の軽減も必要。
- ・ 原木需要の拡大とトラックを含む労働力不足に対応し、原木加工・流通体制の強化が必要。

※ 発言がなかった主な施策：森林の有する多面的機能の発揮の促進

【ご意見をいただきたい事項】

- 女性や若者の定着・回帰に向け、林業・木材産業においてどのような取組が必要か。
- スマート技術の普及・拡大のために取り組むべきことは何か。
- 森林の有する多面的機能について、県民の関心を高め、保全活動への参加を促していくためには何が必要か。

3 水産業の持続的な発展について

〔第1回専門部会での主な発言〕

◇ 人材の確保・育成

- ・ 新規就業者の確保・育成が非常に大きな課題。
- ・ 漁業の現場を知ってもらうための魅力発信が重要。

◇ 漁業所得の安定化と水産物のブランド化

- ・ クルマエビなど高収益が見込める魚種の養殖の実証に期待。
- ・ 鯛まつりなどの行事と連携してブランド化を図ってはどうか。

※ 発言がなかった主な施策：環境の変化に対応した種苗生産や資源管理
漁港・漁場の整備

【ご意見をいただきたい事項】

- 女性や若者の定着・回帰に向け、漁業においてどのような取組が必要か。
- スマート技術の普及・拡大のために取り組むべきことは何か。
- 「少量多魚種」という特徴を踏まえ、本県水産業の所得向上を図るには何が
必要か。

4 農山漁村の活性化について

〔第1回専門部会での主な発言〕

- ◇ 中山間地域の農業・農村ビジネスの振興とそれを担う人材の育成
 - ・ 農村ビジネスは、6次産業化と一体的に、同じ視点で推進すべき。(再掲)
- ◇ 新たな兼業スタイルの普及・促進
 - ・ リモートワーカーや農山漁村での暮らしを嗜好する人に対する新たな兼業スタイルの普及・PRが必要。

※ 発言がなかった主な施策：地域の共同活動等による農地等の適切な保全管理

【ご意見をいただきたい事項】

- 所得向上の視点から、中山間地域における農業や農村ビジネスをどのように進めていくべきか。
- 中山間地域の活性化の要となる人材や組織の育成のためには、何が必要か。
- 農地保全などの共同活動の持続性を高めるためには、何が必要か。